

決算報告

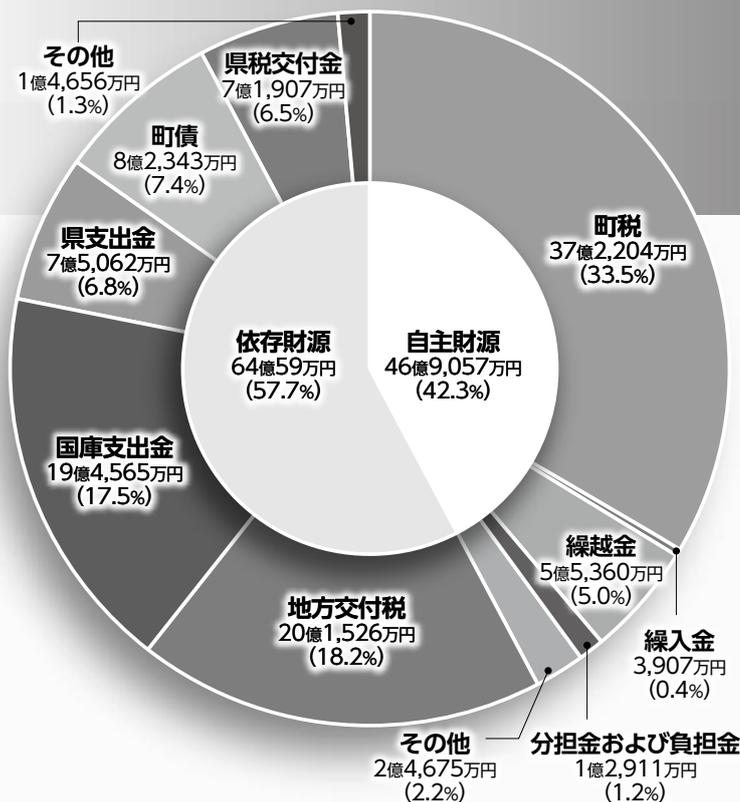
令和3年度

令和3年度の決算が、町議会で審議されました。決算は1年間の事業内容を歳入（収入）と歳出（支出）で表したものです。

令和3年度は、第6次日野町総合計画のスタートの年度として、まちの未来への投資となる施策や、新型コロナウイルス感染症対策等の緊急的な施策に対して、積極的な取り組みを行いました。

主な事業では、まちの未来への投資として、地域アドバイザーへの委託や若者の意見を聞く若者会議の開催、中山間地域等直接支払交付金事業

一般会計 歳入 110億9,116万円



- 歳入総額は、令和2年度と比較すると、町税や地方交付税が増加しているものの、特別定額給付金事業の完了に伴い、国庫支出金が大きく減少したことから、7億5,455万円減少しました。
- 町税は、固定資産税が家屋の評価替えにより減収となりましたが、全体としてはコロナ禍から回復傾向にあります。
- 国から一定の基準により交付される地方交付税は、国の税収の増額補正に伴い、通常交付される分に加えて、追加の交付があったことから、令和3年度は増加しています。

用語の解説 歳入

- 自主財源** 町が自主的に調達できるお金です。
- 依存財源** 国や県の基準に基づき交付されるお金です。
- 町税** 皆さんから町に納めていただいた、町民税、固定資産税、軽自動車税等です。
- 地方交付税** 各市町村間の財源の不均衡を調整するために、国から一定の基準により交付されるお金です。
- 国庫支出金・県支出金** 国や県から交付される補助金等です。
- 町債** 町の運営を行うために国や銀行等から借り入れるお金です。
- 県税交付金** 県税から一定の基準により町に交付されるお金です。

子育て世帯への臨時特別給付金給付事業



3億2,260万円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯への支援のため、18歳までの子どもを対象とした給付金を給付しました。

町民会館わむきホール虹特定天井耐震改修工事および外壁補修工事



1億8,924万円

利用者の安全性向上を図るため、わむきホール虹の特定天井耐震改修工事および外壁補修工事を実施しました。

西大路・南比都佐小学校トイレ改修工事



7,696万円

西大路・南比都佐小学校のトイレ改修に取り組みました。ウォシュレット付き洋式便座に改修、床は乾式となり、衛生的なトイレに仕上がっています。

※各項目で四捨五入しているため、合計および割合が一致しない場合があります。

を開始するとともに、「わたむき自動車プロジェクト」による実証実験「バスの運行やアプリ開発等、公共交通活性化に向けた取り組みを実施しました。

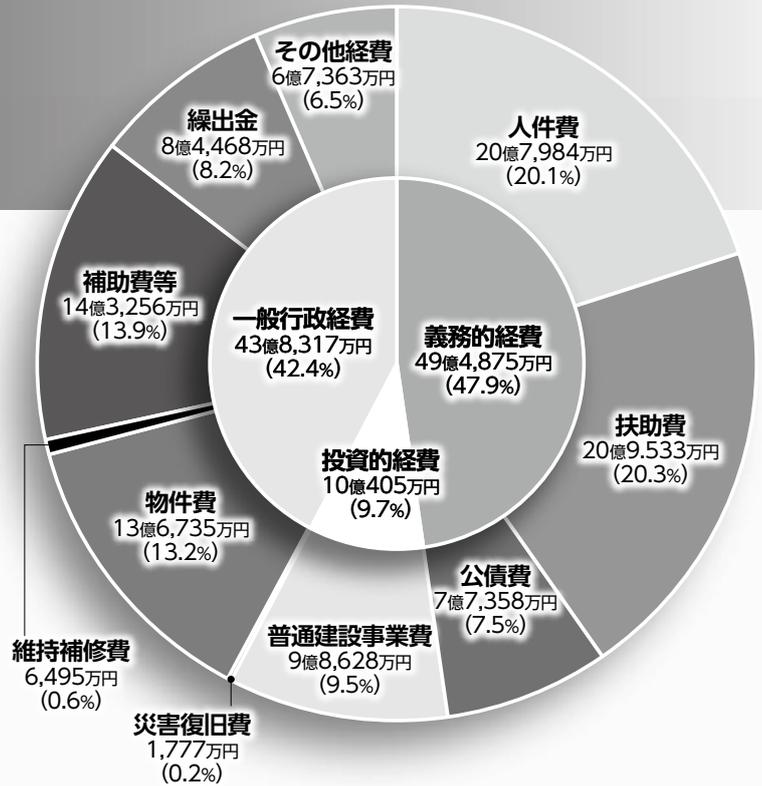
新型コロナウイルス感染症対策としては、ワクチン接種の推進をはじめとして、医療機関への支援や高齢者施設等へ入所する方への検査費用の補助、子育て世帯・非課税世帯に対する給付を実施したほか、教育面では、小中学校の学習支援員の配置やオンライン授業のためのタブレット端末の配備を行いました。また、地域経済活性化のため、コロナ禍で打撃を受けた町内事業者への支援や「おさんぽQRカード」への設備更新の支援、そのほかにも障がい児童の支援室を増築する等、多岐にわたる対策を実施しました。結果、決算規模としては、歳入歳出ともに過去10年では令和2年度に次ぐ2番目の規模となりました。



一般会計 歳出

103億3,597万円

- 歳出総額は、令和2年度と比較すると、新型コロナウイルス感染症関連の経費が増加したものの、特別定額給付金事業が完了したことから、9億5,615万円減少しました。
- 歳出を性質別に見ると、子育て世帯や生活に困っている人、障がいのある人の生活を支えるための費用である扶助費が、20.3%と最も多く、住民税非課税世帯等や子育て世帯への臨時特別給付金の支給等、多くの給付を行ったことから大きく伸びています。
- 一般行政経費である物件費では、新型コロナウイルス感染症対策のための備品や消耗品、ワクチン接種のための経費等、例年にない経費がかさみました。



用語の解説 歳出

- 義務的経費** 支出することが義務付けられている経費です。
- 投資的経費** 公共施設の整備や大規模修繕等の経費です。
- 一般行政経費** 上記以外の経費です。
- 人件費** 議員等への報酬や職員の給与等の費用です。
- 扶助費** 子育て世帯や高齢者、障がいのある人への支援費用です。
- 公債費** 町の借入金の返済費用です。
- 普通建設事業費** 道路や公共施設の整備等、将来への投資費用です。
- 物件費** 光熱水費、消耗品費、備品購入費等です。
- 補助費等** 消防やごみ処理等の広域行政への負担金や、自治会や団体等への補助等の費用です。

令和3年度に実施した主な事業

料理飲食店 プレミアム付商品券事業



コロナ禍に苦しむ町内料理飲食店を支援するため、町内料理飲食店で利用できる「日野町料理飲食店プレミアム付商品券」事業を実施しました。

1,174万円

中山間地域等 直接支払交付金事業



農業生産条件の不利な中山間地域等で農用地を維持・管理していくための活動に対して支援を行いました。

689万円

わたむき自動車 プロジェクト



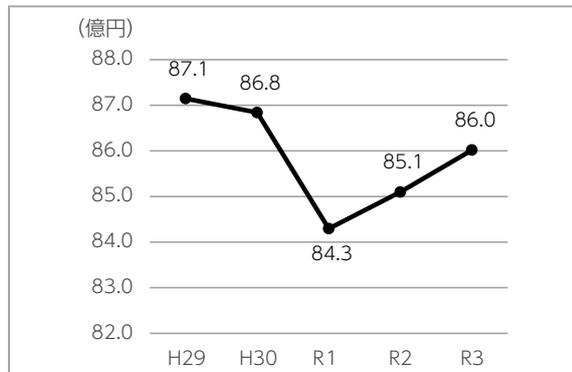
実証実験バスによる通勤輸送やアプリ開発等の公共交通活性化に向けた取り組みを実施しました。令和4年度はカーフリーデー・通勤バス等の実証実験に取り組んでいます。

4,202万円

将来に負担を残さぬよう、着実に返済を進めつつ、積み立てています。

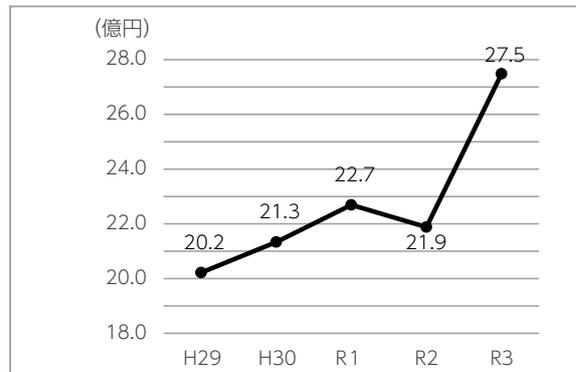
町の借金と貯金

町債残高(借金)



町債は道路等の公共施設の整備・維持管理等のために借り入れしている借金です。令和3年度は、わたむきホール虹の特定天井耐震改修工事および外壁補修工事等の財源として借り入れたため、昨年度に引き続き増加しています。

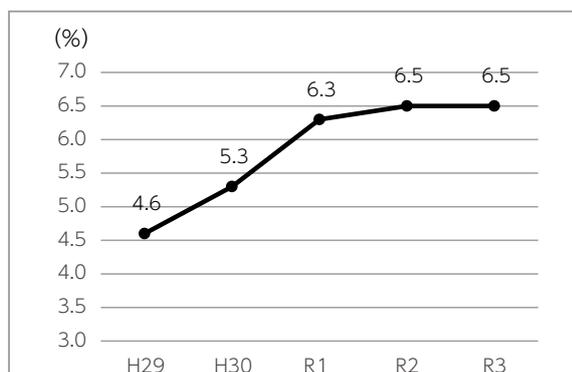
基金積立額(貯金)



町の貯金である基金は、国から交付される地方交付税が例年以上に多く交付されたことから、突発的な災害等への対応や今後の財政需要に備えるために積み立てています。

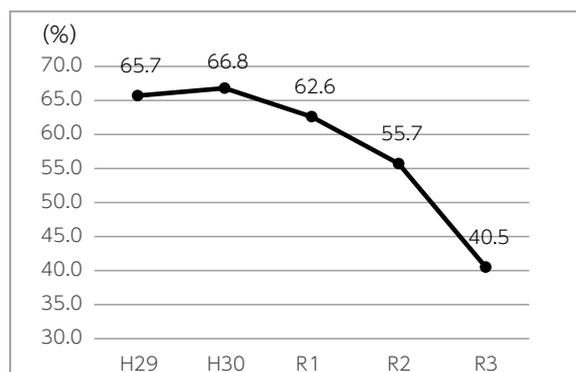
健全化判断比率

実質公債費比率



実質公債費比率は、年間の借金返済の大きさを表しています。近年は、過去に借り入れた借金の返済が増えており、増加傾向にあります。

将来負担比率



将来負担比率は、将来に負担が見込まれる負債の大きさを表しています。借り入れた借金の返済を着実に進めていることから、前年度と比較して15.2ポイント減少しています。

財政の健全化を示す指標は、いずれも早期健全化基準（実質公債費比率25%、将来負担比率350%で、この基準以上になると、早期に改善が必要とされます。）を大きく下回っており、町の財政状況は健全であることを示しています。

◆問い合わせ先 総務課 財政担当 ☎ 0748-52-6500